

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	立教ゼミナール発展編 2 (Seminars for Senior Students of Rikkyo University 2)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	「地域創造人財論～飛び込む前に知っておきたいこと～」 Introduction to basic knowledge for regional creation human resources.		
担当者名 (Instructor)	小川 秀樹(OGAWA HIDEKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP3200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016 年度以降 1 年次入学者対象科目 定員 30 名		

#### 授業の目標 (Course Objectives)

あなたは「地域」と聞いて、どんな風景が浮かんできますか。豊かな自然や歴史に育まれた伝統行事、その地に根付く伝統文化や地場産業でしょうか。グローバル化が進み、東京という巨大都市でさえ、地球の中では「地域化」してしまう令和の時代ですが、あえて地域にこだわってみたいと思います。

特別なものや、特別な人がいるわけではない、日本のどこにでもある地域の課題を見つめ、その魅力と創造のための方策を考えます。

What kind of landscape do you hear when you hear "region"? Is it a traditional event nurtured by rich nature and history, or a local industry that takes root in that place? In the age of Reiwa, where globalization has progressed and even the megacity of Tokyo has become "localized" on the earth, I would like to stick to the area. Think of the charm and creativity of localities everywhere in Japan, where there are no special things or special people.

#### 授業の内容 (Course Contents)

地球的な視点で文明の軸を見直そうと動いている SDGs を切り口に、地域課題を掘り下げていきます。厳しい課題があるわけではない一方、成長の道筋が見えない混沌、複雑化する地域課題に向き合い、解決に向けて取り組んでいる専門家をゲストスピーカー(GS)に招きます。地域から起業した経営者、社会活動家、農業者、地方公務員などに最先端の話をうかがいます。これら GS の講義をもとに、地域の魅力をさらに磨き、日本と世界の「地域」が連帯できる未来図を皆さんと話し合いたいと考えています。

From the perspective of the SDGs, which began to review the axis of civilization from a global perspective, we will delve into regional issues. The challenges of the region are not challenging in any visible way, but rather chaotic and complicated, with no clear path to growth. Let's take Saitama Prefecture as an example. And we invite experts working on the cutting edge at each site to guest speakers. Based on the lectures given by guest speakers, we will further refine the appeal of the region and create a vision of the future where the Japanese region can unite the world.

#### 授業計画 (Course Schedule)

##### 1. イントロダクション

あなたにとっての「地域」はどこですか。そこは好きですか、嫌いですか。それはなぜですか？ どうしてこの授業を受講したのか、受講者の皆さんと共有していきます。

地域は平面的な広がりだけでなく、精神的なものでもあります。それぞれの皆さんの「地域観」を確認します。

##### 2. SDGs 概要

SDGs について、概論的に学びます。この授業では、地域が直面するテーマを複数取り扱います。その中で、どうしてこのテーマを取り上げるのか、と立ち返る時の基本的な軸になるのが SDGs です。埼玉県が生んだ渋沢栄一、本多静六の 2 人の人生のエッセンスから SDGs とは何かを学びます。

##### 3. 地域の伝統を今に生かす

地域は伝統文化、伝統産業と共生する場でもあります。しかし伝統は、常に変わっていかなければ未来には続きません。埼玉県内にある伝統産業の日本酒、盆栽などの事業を紹介し、伝統をいかに未来につなげていくか考えます。

##### 4. 女性のエンパワーメント

地域振興や企業の持続的な発展のためには、女性の参画が重要になっています。しかしながら女性の参画が、思うように進んでいないことも大きな課題になっています。どうすれば女性のエンパワーメントが地域社会で進展するのか。その実態と課題を考えます。

##### 5. 農業の未来

都市近郊地は、消費地と近く農業経営には適した立地となっています。しかし後継者不足や、土地利用制度の課題、農産物の商品性の安さなどから、十分産業として発展しているとはいえない環境にあります。そこで地域の元気と環境を保全する農業の魅力を考察します。

##### 6. 生物多様性と地域

近年、日本国内では里山や小河川が急速に消えています。開発反対だけでは、地域の自然を保護できない時代です。自然環境を創造する人、保全する人、活用する人たちは、いかにかわっていかればいいのか検討します。また生物多様性

が、これからの地域発展の中で、どのような位置を占めるのか、グローバルな視点から考えます。

7. 地域における人権問題  
しょうがいの有無や、国籍、人種、ジェンダー、慣習など様々な障壁が現代社会を生きる私たちを取り巻いています。しかしながら、先人たちの努力によって、また時代の変化によって見えにくくなった人権問題「同和問題」が残る地域も依然として存在しています。地域の人権問題とは何か考えます。
8. 助け合い支え合う防災  
コロナ禍の中で地域社会が、互いにどう支えあうのかに注目が集まります。近年は予想もなかった自然災害が多発しているながら、地域の安心安全はもろいものとなってきました。地域の防災の最前線にいるのが地域防災組織です。今回はその中でも「消防団」に焦点を当て、その役割、現状、未来を考えます。
9. 政治家の仕事  
政治と聞くと何か縁遠く感じますが、地域の意思決定システムとして政治の役割は常に重いものがあります。しかしながら地域の政治は身近なようで、何をやっているのかわからないのも事実です。立教大学を卒業後、政治の世界に飛び込んだ方たちのお話を聞くことによって、リアルな政治の世界を感じ取ってみたいと思います。
10. 自治体経営  
地域創造の先頭に立つのは、やはり自治体といえるでしょう。立教の先輩たちの多くが自治体経営の中心で活躍しています。なぜ自治体職員(地方公務員)になったのか、苦労していることは何か、自治体に未来はあるのか、地方公務員として活躍している立教の先輩から実例を紹介してもらいながら、講義をしていただきます。
11. ローカルメディアの未来  
私は埼玉県の県紙「埼玉新聞」で報道、営業、経営の各分野で働いてきました。インターネットが情報社会を席卷する中で、ローカルメディアは必要とされているのかどうか向き合ってきました。変わるローカルメディアと地域とのかかわりについて考えます
12. 地域から世界へ  
地域発の企業が世界へ進出する時代になりました。地域で培ってきたビジネスノウハウを主に発展途上で横展開して成功する企業がいくつも出てきました。日本と世界の地域が結び付く新しいビジネスの未来を考えます。
13. 動き始めたまちづくり会社  
国の制度創設に伴い各地で「まちづくり会社」の設立が相次いでいます。まちづくり会社とは何かを知り、地域創生の中でどのようにかかわっていけば、有効な存在になっていくのか現場の声を聴きながら考えます。
14. まとめ  
授業で取り上げたさまざまな地域課題の中から、地域の課題を取り上げ、いかに解決していくかを事例研究を通じて発表してもらいます。

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

##### 授業時間外(予習・復習等)の学習

- 1) 初回授業までに、自分の地元の自治体(都道府県および市町村)の公式 WEB サイトを閲覧し、人口構成や世帯数、主要産業、社会課題を調べておいてください。
- 2) 2回目以降の準備学習については毎時、指示します。
- 3) 居住地(出身地)の新聞のローカルニュースをチェックしてください。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(20%) / 講義・議論への参加状況(60%) / 各回の課題提出(20%)  
自分の考えていることを表現することを重視します。積極的な議論への参加を期待します。

#### テキスト(Textbooks)

授業時に資料を配布します。

#### 参考文献(Readings)

必要に応じて指示します。

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

私は埼玉県庁の報道記者に始まり報道、営業、経営などさまざまな新聞社の業務を経験しながら、埼玉県で働き、生活してまいりました。この間、埼玉の様々な事件や人々と出会い、泣き笑いを重ねながら、紙面はもちろん、新聞事業すべてを通じて発信し、地域の元気に貢献してきたと自負しています。

昨今、世界的に地域の疲弊や衰退が報じられています。しかし地域には日本と世界を元気にするタネがたくさん埋まっています。

芽吹きを待つ小さな種を、土の中に見つけて育てていける人材こそが、「地域創造人財」です。このゼミナールを通して、自分の地域を好きになり、地域創造の最前線に魅力を感じてくれる方が増えるとうれしいと思います。

#### 注意事項(Notice)

本科目は、担当教員の実務経験、または実務に従事するゲスト・スピーカーの招聘講義等を活かした授業である。